

# 総合教育会議の各連携事項の進捗状況について

資料3

項目	令和元年度及びこれまでの 主な取組み・進捗状況	令和3年度までの見通し		課 題
		令和2年度	令和3年度	
幼保小 「連携」から 「接続」への 発展	<p>《令和元年度》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○アプローチカリキュラムの作成・普及</li> <li>・重点推進園(モデル実施園)でのアプローチカリキュラム検証</li> <li>・普及イベント開催</li> <li>・事例集作成・アプローチカリキュラム作成の手引き改訂</li> </ul> <p>○スタートカリキュラムの改善</p> <p>○「幼・保・小関連教育推進事業」等を通じた連携・交流活動</p> <p>○家庭と保護者に対する啓発・支援</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・啓発リーフレット配布及び講演会開催</li> </ul> <p>○子どもに関する情報共有の円滑化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市内共通教育・保育施設版「個別の教育支援計画(特別な支援の必要な子どもの教育支援計画)」の改訂</li> <li>・連携サポートリスト(医療的ケアが必要な子どものリスト)の作成</li> </ul> <p>《平成30年度まで》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○アプローチカリキュラムの作成・普及</li> <li>○スタートカリキュラムの改善・普及</li> <li>○「幼・保・小関連教育推進事業」等を通じた連携・交流活動</li> <li>○家庭と保護者に対する啓発・支援</li> <li>○子どもに関する情報共有の円滑化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■アプローチカリキュラムの作成・普及</li> <li>・重点推進園(モデル実施園)の取組継続</li> <li>・カリキュラムコーディネーターによる支援</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>■スタートカリキュラムの改訂</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>■連携・交流活動の普及・定着</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>■家庭と保護者に対する啓発・支援</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>■市内共通教育・保育施設版「個別の教育支援計画」の作成</li> </ul>	<p>→</p> <p>→</p> <p>→</p> <p>→</p> <p>→</p> <p>→</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1)カリキュラムの改善・普及</li> <li>・重点推進園(モデル実施園)の取組成果の共有</li> <li>・モデルカリキュラム(千葉市版アプローチカリキュラム)の効果的発信</li> <li>・スタートカリキュラムの全体計画の中での位置づけ</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>(2)保育士・教諭、子ども同士の連携・交流の強化</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>(3)家庭と保護者に対する啓発・支援</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>(4)子どもに関する情報共有の円滑化</li> <li>・市内共通教育・保育施設版個別の教育支援計画の幼稚園・保育所等における共通理解及び作成</li> </ul>

項目	令和元年度及びこれまでの 主な取組み・進捗状況	令和3年度までの見通し		課 題
		令和2年度	令和3年度	
子どもの 貧困対策の 推進	<p>《令和元年度》</p> <p>○子どもナビゲーターと連携する学校を拡充(中央区 院内小)・効果検証</p> <p>○学校外教育バウチャー事業の実施・効果検証</p> <p>○教育課程外の学力保障に向けた取組の実施・効果検証(若葉区 千城台南小、千城台西小)</p> <p>○生活保護世帯等学習・生活支援事業:拡充(生活支援等の新規実施)</p>	<p>■子どもナビゲーターの拡充(2→3か所)</p>	→	<p>(1)気づき・つなげるための視点の共有、連携方策 ・子どもナビゲーター事業の効果的な運用</p> <p>(2)家庭学習の推進 ・家庭環境や生活習慣の改善と学力との相関関係の検証 ・子どもナビゲーターと連携した家庭学習の推進</p> <p>(3)教育課程外の学力保障に向けた取組 ・「長期休業中における集中的な学習支援」と「放課後における継続的な学習支援」の効果検証</p>
	<p>《平成30年度まで》</p> <p>○子どもナビゲーターとモデル校(山王小)との連携 ・「学力向上アクションプラン」の作成</p>	<p>■ナビゲーターと支援家庭との関係構築を基盤とした生活改善と連携モデル校における学力向上アクションプランの作成・効果検証</p>	→	
	<p>○ICTを活用して、習熟度に応じた学習の推進に向けた取組を実施</p>	<p>■学校外教育バウチャー事業の推進</p>	→	
	<p>○家庭学習を推進するための普及・啓発事業:継続</p>	<p>■教育課程外の学力保障に向けた取組の継続実施・効果検証</p>	→	
	<p>○教育課程外の学力保障に向けた取組の検討</p>	<p>■学習・生活支援事業(土日開催の実施(2か所→6か所)、生活支援等)</p>	→	
	<p>○生活保護世帯等学習支援事業:拡充(平日→平日及び土曜日)</p>			

項目	令和元年度及びこれまでの 主な取組み・進捗状況	令和3年度までの見通し		課 題
		令和2年度	令和3年度	
子どもの受動喫煙の防止について	<<令和元年度>> ○小学4年生を対象にした尿中コチニン検査を若葉区にてモデル実施 ○小学6年生及び中学3年生への喫煙防止教育の実施 ○中学生へ歯科医師による喫煙防止教室 ○妊産婦や子育て中の家庭への周知啓発・禁煙の個別支援 ○子どもを守る禁煙外来治療費助成事業の実施 ○法令の周知啓発 ・動画を市内大型ビジョンで放映 ・市民向けリーフレットを市内小中学生に配布 ・公共交通機関での広告を実施  <<平成30年度まで>> ○小学6年生及び中学3年生への喫煙防止教育の実施 ○中学生へ歯科医師による喫煙防止教育 ○妊産婦や子育て中の家庭への周知啓発・禁煙の個別支援 ○子どもの受動喫煙防止リーフレットを市内小学生に配布 ○子どもを守る禁煙外来治療費助成事業の実施(平成30年6月開始) ○法令の周知啓発 ・動画を市内大型ビジョンで放映 ・公共交通機関での広告を実施	■尿中コチニン検査を市内全小学4年生への拡大を検討  ■小学6年生、中学2、3年生への喫煙防止教育の実施(移行期のため、中2、中3で学習)	■小学6年生及び中学2年生への喫煙防止教育の実施	(1)尿中コチニン検査の実施体制の構築 (2)小学4年生の受動喫煙防止に関する学習内容についての検討 (3)受動喫煙回避方法の学習内容と実施学年についての検討 (4)尿中コチニン検査にかかる効果検証手法の検討 (5)改正健康増進法及び市条例に基づき、受動喫煙対策を強化する必要がある。
		■法令の全面施行		

項目	令和元年度及びこれまでの 主な取組み・進捗状況	令和3年度までの見通し		課 題
		令和2年度	令和3年度	
オリンピック・ パラリンピック を契機とした 「まちづくり」 「ひとづくり」	<p>《令和元年度》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○オリパラ応援作品の制作</li> <li>○学校観戦プログラム事業検討</li> <li>○都市ボランティア <ul style="list-style-type: none"> <li>・育成・実践</li> </ul> </li> <li>・市立中学校・高校向け公開講座の実施</li> <li>○科学館でのアスリートによる講演</li> </ul> <p>《平成30年度まで》※令和元年度も継続</p> <p>1 大会機運高揚事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●学校給食「オリパラ応援メニュー」の実施</li> <li>○都市ボランティア <ul style="list-style-type: none"> <li>・育成・実践</li> </ul> </li> <li>・市立中学校・高校向け公開講座の実施</li> </ul> <p>2 体力向上・健康づくり事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●市立全小中学校の授業でパラスポーツ実践 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ゴールボール、シッティングバレーボールの教員研修。(31年度:車いすバスケットボール追加)</li> <li>・競技用車いすの巡回(元年度:小学校37校、中学校13校で実施可能)</li> </ul> </li> <li>●アスリートの学校訪問、パラスポーツ観戦</li> <li>●科学館でスポーツ科学の展示</li> </ul> <p>3 多様性理解教育事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●パラリンピック関連の教材を活用した道徳等授業の充実</li> <li>●オリパラ関連講座の開催</li> </ul> <p>4 国際理解教育事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●オリパラ英語教材を活用した外国語・外国語活動の充実</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>○「オリパラ教育実施方針」の策定(28年度)</li> <li>○オリパラ教育実践校として全171校を指定(29年度)</li> </ul>	<p>1 大会機運高揚事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■オリパラ応援作品の制作</li> <li>■学校観戦プログラムによるオリパラ観戦</li> <li>■学校給食「オリパラ応援メニュー」の実施</li> <li>■都市ボランティア <ul style="list-style-type: none"> <li>・育成・運営・レガシー化</li> <li>・中学生・高校生の体験実施</li> </ul> </li> </ul> <p>2 体力向上・健康づくり事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■市立全小中学校の授業でパラスポーツ実践(教員研修含)</li> <li>■アスリートの学校訪問、パラスポーツ観戦</li> <li>■科学館でスポーツ科学の展示</li> </ul> <p>3 多様性理解教育事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■パラリンピック関連の教材を活用した道徳等授業の充実</li> <li>■オリパラ関連講座の開催</li> </ul> <p>4 国際理解教育事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>■オリパラ英語教材を活用した外国語・外国語活動の充実</li> </ul>	<p>→ ボランティア文化・体制等の承継、振興</p> <p>オリパラ終了後継続実施</p> <p>オリパラ終了後継続実施</p> <p>→ オリパラ終了後継続実施</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・関連事業等の着実な展開、大会終了後の継続</li> <li>・大会後のレガシー創出に向けた検討</li> <li>・市長部局と連携した取組の検討</li> </ul>

項目	令和元年度及びこれまでの 主な取組み・進捗状況	令和3年度までの見通し		課 題
		令和2年度	令和3年度	
子どもたちの 放課後の充実	<<令和元年度>> ○放課後子ども教室・子どもルーム一体型モデル事業の拡充(1校→6校) ○放課後子ども教室・子どもルーム一体型事業6校拡充に向けた開設準備 ○子どもルームの拡充(増設・教室改修等) ○子どもルーム委託先の多様化(4か所→14か所) <<平成30年度まで>> ○放課後子ども教室・子どもルーム一体型モデル事業開始(H29:稲浜小1校) ○放課後子ども教室活動支援モデル事業開始(H28:10校で開始→H30:17校) ○「放課後子どもプラン」策定 ○「子どもルーム待機児童解消のための緊急3か年アクションプラン」策定 ○子どもルーム委託先の多様化(民間事業者へ委託開始:4か所) ○民間補助メニューの拡充(開所経費補助)	■一体型事業 6校開校(全12校) ■放課後子ども教室活動支援モデル(17校) ■子どもルームの拡充:継続 ■子どもルームの委託先の多様化(23か所) ■高学年子どもルームの環境改善 ■子ども子育て支援システム運用開始	■放課後子どもプラン中間見直し → 6校開校(全18校) → 検討 検討 検討	(1)放課後子ども教室 ・校庭を中心とした放課後の学校施設の活用方法の検討 (2)放課後子ども教室・子どもルーム一体型事業 ・活動場所等が確保できない学校への拡充方法 ・安定した運営のための利用料金の設定 ・プラン見直し時にR4以降の拡充について検討 (3)子どもルーム ・余裕教室の活用を基本とするが、利用児童数が多い学校は、余裕教室が少ない。 ・施設には余裕があるものの、指導員が不足しているため、受入枠を拡大できないルームがある。 ・図書室などの特別教室を学校教育との共用で利用している高学年子どもルームは施設面・運営面ともに支障がある。

項目	令和元年度及びこれまでの 主な取組み・進捗状況	令和3年度までの見通し		課 題
		令和2年度	令和3年度	
地域経済・地域 産業を 支える人材の 育成・確保	<<令和元年度>> ○職業体験学習の充実 ○キャリア教育推進連携会議:継続 ○キャリア教育主任研修会:継続 ○課題解決型の教員研修:継続 ○専門高校との連携強化:継続 ・中学生向けリーフレット等の作成 ○産業人材育成事業:継続 ・ちばっ子商人育成スクール ・高校生対象バスツアー ・技術職等の啓発冊子作成 ○高校生の保護者の理解促進事業:新規 <<平成30年度まで>> ○産業人材育成事業(高校生対象バス ツアー、技術職等の啓発冊子 作成):新規 ○キャリア教育主任研修会:継続	■「千葉市のキャリア教育」 に基づく施策の実施 ■キャリア教育推進連携会 議の開催 ■キャリア教育主任研修会 開催 ■課題解決型の教員研修 充実 ■専門高校との連携強化 ・中学生向けリーフレット等 の作成 ・体験入学への参加者拡大 ■千葉県インターンシップ推 進委員会活動支援 ■ちばっ子商人育成スクー ル ■技術職等の魅力啓発冊子 作成 ■高校生対象企業見学バス ツアー ■高校生の保護者の理解促 進事業	→ → → → → → → → → →	(1)キャリア教育の計画的な推進 ・雇用等の社会ニーズを踏まえたキャリア教育 の取組み ・業界団体と連携したキャリア教育 (2)中学校職業体験学習の質的・量的な見直し (3)産業系専門高校との連携 ・教員、生徒の産業系専門高校への理解度を 上げる。 (4)ちばっ子商人育成スクールのブラッシュアップ



項目	令和元年度及びこれまでの 主な取組み・進捗状況	令和3年度までの見通し		課 題
		令和2年度	令和3年度	
本市のアイデンティティ醸成につながる郷土教育等の推進	<<令和元年度>> ○都市アイデンティティ戦略プランに基づいた取組みの実施 → ○海の副読本制作 → ○「わたしたちの千葉市」の全面改定 → ○補助教材の充実 → ○教員研修の充実 → ○マンガ等を活用した郷土教育の実施 → ○学校におけるオオガハスの栽培 → ○郷土教育の拠点としての博物館の充実及び利用促進 → ○公開市民講座の実施 → ○加曽利貝塚の史跡整備 → ○加曽利貝塚発掘調査研究 →	■都市アイデンティティ戦略プランの見直し → ■授業における海の副読本の活用 → ■「わたしたちの千葉市」の定期改訂 →	■第3回千葉氏サミット →	(1)授業で実際に活用できる郷土の素材、指導案等の事例を集積し、研修会等で提示していく必要がある。 (2)児童が本市のアイデンティティをより深く理解できるよう、「わたしたちの千葉市」の改訂における的確な編集作業を徹底する必要がある。
	<<平成30年度まで>> ○千葉常胤生誕900年記念行事開催 ○千葉氏サミット開催(第1回、第2回) ○千葉開府900年に向けたロードマップ策定 ○加曽利貝塚ランドデザインの策定	■小中学生を対象とした絵画コンクールの実施		



項目	令和元年度及びこれまでの 主な取組み・進捗状況	令和3年度までの見通し		課 題
		令和2年度	令和3年度	
学校における働き方改革について	<<令和元年度>> ○働き方改革プランの浸透 ○教員の業務の明確化・適正化(外部による調査の検討) ○専門スタッフ配置の最適化 ○自動応答電話の導入、閉庁時間、閉庁日の設定 ○地域人材活用 ○IT活用による業務改善			(1)「学校における働き方改革プラン」を学校現場の教員に浸透させていくか (2)プランの具体的取組みについて、地域・保護者に発信し理解と協力を求める (3)具体策の効果を現場の教員の負担とならないようどのように検証していくか
	<<平成30年度まで>> ○チーム学校推進委員会の取組み ・「学校における働き方改革プラン」の策定・公表 ○各WG(閉庁時間・自動応答、IT活用による業務改善、人的配置の拡充・最適化、地域連携推進、啓発・広報広聴)の取組み ・部活動ガイドラインの策定 ・タイムレコーダ導入による出退勤管理、 在校時間報告 ・専門スタッフの配置に関する調査	・「学校における働き方改革プラン」の改訂	■目標達成状況確認 ①教員の月平均在校時間を29年度の平均から10時間以上削減 ②月平均在校時間45時間越えの教員の数を29年度の割合から3割削減	